

平成23年5月2日発行

会員各位

協会だよりー221(5月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

<トピックス>

- 4月27日に第36回(平成23年度)定期総会は出席28社、委任状10社で無事終了いたしました。
- 平成22年度の資源化実績報告書の早期発行を目指しています。
- 23年度の初回事業、第209回月例会(講演会)の準備のための第一回運営委員会を開催します。5月20日午後3時半より、堺化学工業㈱会議室にて。



撮影：松田高志氏(日本無機化学工業㈱OB)。場所は新宿御苑で天気良好、人出最大の様子です。松田氏は現在、大田区に在住し大田フォトクラブに所属、活躍しています。

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
二. 新規入会会員の紹介
三. 第三十六回総会を終了して
四. 事務局より(五月度の予定)
五. 【雑学】発祥地 十一
(官字掬籃の地)
横浜国立大学工学部(横浜高等工業学校)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー220(4月号)をメール&郵便で送信(3/1)
- ② 平成22年度・会計監査
日時：4月6日(水)15時00分～17時00分
場所：太陽鉦工㈱会議室
- ③ 第三回役員会
日時：4月11日(月)10時30分～12時00分
場所：(株)徳力本店会議室
議題：総会議案書案の最終検討、他
- ④ 第36期定期総会資料・委任状の送付予定(4/12)

- ⑤ 第36期(平成23年度)定期総会の開催
 日時：4月27日(水)13時30分～15時00分
 場所：JXグループ六本木クラブ会議室
 議題：平成22年度事業報告、平成22年度収支決算、会計監査報告、会則の一部改正(案)、平成23年度事業計画(案)、平成23年度収支予算(案)、役員・委員の紹介。

[予定事項]

- ① 第一回運営委員会
 日時：5月20日(金)15時30分～17時00分
 場所：堺化学工業㈱会議室
 議題：第209回月例会の準備、他
- ② 第一回調査・技術委員会
 日時：未定
 場所：日興リカ㈱会議室(未定)
 議題：2010年度の資源化実績編集、他

2. 新規入会・賛助会員の紹介〔敬称略〕

- 神鋼リサーチ株式会社殿が賛助会員として4月1日付けで入会されました。以下にご紹介いたします。会員の皆様宜しくお願ひ申し上げます。

【本社所在地】〒135-0016 東京都江東区東陽4-10-4 東陽町SHビル
 【資本金】5千万円 【従業員数】106人
 【代表者】代表取締役社長 大友 朗紀
 【協会担当者】菊池 茂(上席主任研究員)
 【主なる事業内容】1. 技術・市場調査事業 2. 知的財産支援事業 3. 品質・環境支援事業
 4. 開発業務支援事業(神戸製鋼所のみ)

3. 第36回総会を終了して

3月11日の東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故発生により、会員会社工場の被災、鉄道の寸断もあり総会開催も危ぶまれていましたが、4月27日(水)午後1時半よりJXグループ六本木クラブ会議室にて、会員の皆様のご協力により出席会社 28社(31名)、委任状提出会社 10社の計38社(全会員)、来賓として経済産業省製造産業局化学課 野村秀徳課長補佐、今村真教係長のご出席をいただき無事終了いたしました。

平成22年度の事業報告、収支決算報告、会計監査報告の御承認、平成23年度事業計画、収支予算案を審議、御承認をいただきました。その要点を記載いたします。

- 事業計画の月例会開催(7月・講演会、9月・見学会、11月・一泊研修会、2月・講演会、新年会)を4回実施予定。
- 一回の月例会を4社(幹事会社)で担当。企画・運営のために運営委員会に出席。
- 支出予算として東日本大震災義援金として¥30万円支出する。5月2日、郵便局より日本赤十字社の東日本大震災義援金の口座に振込みいたしました。
- 役員・委員の紹介
 - 役員会(平成22年度、23年度の任期2年間)
 - 会長 大井 滋(JX日鉱日石金属㈱)
 - 副会長 細田 顕治(松田産業㈱)

- 副会長 宮崎 隆史 (株徳力本店)
 - 会計 牧 恵子 (太陽鋳工株)
 - 理事 武田 有司 (石福金属興業株)
 - 理事 水野 光男 (アジア物性材料株)
 - 理事 尾沼 涼 (ジョンソン・マッセイ・ジャパン・イグ)
 - 監事 角谷 敏男 (田中金属工業株)
 - 監事 関山 新治 (小島化学薬品株)
2. 運営委員会 (平成22年度、23年度の任期2年間)
- 委員長 武田 有司 (石福金属興業株)
 - 委員 佐藤 邦彦 (日誠金属株)
 - 委員 河野 照男 (日本無機化学工業株)
 - 委員 新崎 俊光 (堺化学工業株)
 - 委員 岩崎 信男 (新興化学工業株)
 - 委員 斉藤 純夫 (日揮触媒化成株)
 - 委員 河合 治生 (相田化学工業株) ※新任
 - 委員 川上 好武 (ミヤマ株) ※新任
3. 調査・技術委員会 (平成22年度、23年度の任期2年間)
- 委員長 水野 光男 (アジア物性材料株)
 - 委員 藤井 利通 (エヌ・イーケムキャット株)・貴金属部会長
 - 委員 永田 伸和 (日興リカ株)・Ni-Co部会長
 - 委員 神谷 康司 (太陽鋳工株)・Mo-V-W部会長
 - 委員 堀内 照弘 (キンキメタル産業株)・アルミナ他部会長
 - 委員 伊達 晋介 (アサヒプリテック株)・レアメタル部会長
4. 広報委員会 (平成22年度、23年度の任期2年間)
- 委員長 尾沼 涼 (ジョンソン・マッセイ・ジャパン・イグ)
 - 委員 新井 智 (JX日鋳日石金属株)
 - 委員 形部 泰孝 (中外鋳業株)
 - 委員 渡部 真治 (川研ファインケミカル株)
 - 委員 藤井 義一 (ズードケミー触媒株)

以上

4. 事務局より (5月度の予定)

曜日	月	火	水	木	金	土
1週	2	3	4	5	6	7
	○	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	×	×
2週	9	10	11	12	13	14
	○	○	×	×	○	×
3週	16	17	18	19	20	21
	×	○	×	×	第1回運営委	×
4週	23	24	25	26	27	28
	×	○	×	×	○	×
5週	30	31	6/1	6/2	6/3	6/4
	×	○	×	×	○	×

事務局延べ出勤予定：9日 (○; 終日、△; 半日、×は休日)。

5. 【雑学】発祥の地 十一 (官学揺籃の地)

先月号で官学として東京大学工学部 (工部大学校) と千葉大学工学部 (東京高等工芸学校) を紹介しましたが今月号は横浜国立大学工学部 (横浜高等工業学校) を紹介いたします。

【横浜国立大学工学部】

横浜高工は 1920 (大正9) 年に現在の横浜市南区大岡に設立された国立の学校です。1923 (大正12) 年9月1日の関東大震災で校舎がほぼ全壊しましたが1936 (昭和11) 年に完成した鉄筋の本館は現在でも横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校として、その一部の敷地と共に使用されています。この大岡の地に横浜高工は設立され横浜国立大学工学部としても1979 (昭和54) 年まで使用していました。その年、他の学部 (経済学部、経営学部、教育学部) との統合で、旧程ヶ谷カントリークラブの広大なゴルフ場跡地 (30万坪はあるのでは) の現・常盤台キャンパスに移転しました。大岡のキャンパスは横浜市営地下鉄グリーンライン弘明寺駅からほぼゼロ分の場所と便利な所にあり上記の附属中学校、附属特別支援学校、横浜国立大留学生宿舎、放送大学神奈川学習センターとして、現在は4施設が分割使用しています。



横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校の正門。中学校の本館は横浜高工、国大工学部本館として使用されていた建物を継続して使用しています。



放送大学神奈川学習センター



横浜国立大学教育人間科学部附属特別支援学校

記念碑に刻まれた内容は



横浜国立大学工学部 旧横浜高等工業学校発祥の地

横浜弘明寺の地に横浜高等工業学校が創立された1920年(大正9年)から80年の星霜が経ちました

この間 1944年(昭和19年)には横浜工業専門学校と改称1949年(昭和24年)に横浜国立大学工学部となり1979年(昭和54年)には大学のキャンパス統合により59年間その歴史を刻んできた弘明寺を去り常盤台へ移転しました

鈴木煙州初代校長による「名教自然」の校風は今なお確実に受け継がれ我が国の産業界をはじめ広い分野で指導的活躍をしている人材を多数輩出しております

横浜国立大学工学部創立80周年を記念してこの地に記念碑を建立し我々の誇りとする校風と伝統を後生に伝えます

2011年(平成23年)10月吉日

横浜国立大学工学部同窓会

【特別編】松田高志氏の作品を2点紹介



完成が待たれる東京スカイツリ

【文責：専務理事】